令和７年度

国語

学校推薦型選抜指定校制

保育学科
入学試験問題

注意事項

１．試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

２．この問題冊子は、12 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気づいた場合は、
手を挙げて監督者に知らせなさい。

３．解答は、解答用紙に記入しなさい。

４．解答用紙には解答欄以外に受験番号、氏名の記入欄があるので、監督者の指示に従って記入しなさい。

５．問題冊子の余白等は適宜利用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。

６．試験終了後、問題冊子は回収します。

受験番号（　　）

氏　　名（　　）

国語

設問一　次の文章を読み、後の問に答えなさい。

私は自分の悪口を、知らないところで言われるのはいやです。私は自分の持ち物を盗まれたり、約束を破られたり、嘘をつかれたり、暴力をふるわれたりするのはいやです。きっとこれはみなさんもそうでしょう。

だから、「自分がしてほしくないことは人にもしないようにしましょう」と、子どもに教えます。また、「自分のしてほしいことを相手にもしてあげましょう」と教えることもあります。

この二つは、同じことを言っているように聞こえるかもしれませんが、少し①ちがいます。自分がしてほしいと思うことを、相手もしてほしいと必ずしも思っているとは限りません。人の好みはさまざまなものだからです。（　ⅰ　）、自分がされたらいやだと思うことは、ほとんどの人もされたくないと思っています。

誰しも、殺されたり、傷つけられたり、ものを盗まれたりしたくありません。だから、1これらのことは、どの国の②ほうりつでも、宗教でも、してはいけないと③きびしく禁止されているのです。

嘘をつかれるのは、誰でもいやです。（　ⅱ　）、自分も嘘をついてはいけないのです。友だちが約束を守ってくれなくていやだと思うのなら、自分も約束を守らなくてはいけません。バカにされるのがいやなら、人をバカにしないようにしなければいけません。いばられたり、自慢されるといやな気持ちがするなら、自分もいばったり、自慢したりしないよう、気をつけるべきなのです。自分が一生懸命話しているのに、無視してほかの人とムダ話をされたりしたら、だれでもしゃくにさわりますから、自分も人の話をしっかり聞くようにしなくてはいけません。

こうしたことを意識しなくても実行できるというのが、人間としての④きほんだと思います。自分が差別されたらくやしいし、傷つきますから、差別をしてはいけません。

大切なのは、「自分が相手の立場だったら、2こんなことをされたらいやだな」と想像することです。（A）自分のことだけで頭がいっぱいな「自己チュー」の人は、「こんなことをされたら人はどう思うだろう」と考えることができません。

自分のことだけでせいいっぱいになるのではなく、相手の気持ちを想像してみる気持ちをもちましょう。そうすれば、相手がいやがることはしないでおこうと、思いとどまることができます。品格とはI<u>そういうもの</u>だと思います。

みんなが少しずつ気をつければ、クラスでも学校でも気持ちよく過ごせますが、みんなが変わることを待つ前に【　I　】

がまず変わりましょう。

美しい動き方や、しぐさが身についている人からは、【　Ⅱ　】を感じます。

Ⅱ立ち居ふるまいが美しいと言ってもいいかもしれません。（B）いつもあわただしく、自分がどんなふるまいをしているか気がつかないことが多いのですが、乱暴で荒々しいふるまいは、見ている人をいやな気持ちにさせます。

⑤ゆうがに、ていねいにふるまう習慣が身についていると、気づかないうちに人にいやな思いをさせることが少なくなります。

（　iii　）、人前でどうふるまったらよいかわからずに、うろうろおろおろしてしまうことがなくなり、どんなときも自信を持って行動できます。これが「育ちがいい」ということでしょう。

みなさんのiおばあさんくらいの年代の人が若かったころには、いろいろなⅢ行儀作法が重視されていました。

ふすまの開け閉めは座って両手で行う、⑥たたみのへりは踏まないで歩く、訪問した家の玄関先で、相手にお尻を向けずにはきものをぬぐなど、細かいマナーが身についているかどうかで、その人の「育ちがわかる」とよく言われたのです。

（　iv　）、小さいころから行儀作法をしっかりとii教えこまれた人が多かったのですが、最近ではそのような行儀作法は教えられなくなっています。

私も若いころ、「そんなの古い古い、もう適用しないわよ」と反発して、行儀作法をきちんと身につけませんでした。いまになってみると、なんてⅣもったいないことをしたのだろうと思います。（C）

いまは、たたみの部屋が少なくなっていることもあり、「座って、ふすまを開け閉めし、正座してからひざの前に手をつき、頭を下げる」という作法が必要な場面はほとんどなくなりました。

（　v　）、応接間のドアの開け閉めは静かにする、バタバタと⑦あしおとをたてないように、すっすっと歩く、お客さまにはていねいに頭を下げる、ていねいにお茶を出すといったことは、いまでも大切なマナーです。

（D）お客さまにはしっかりあいさつし、Ⅴ頭だけピョコンと下げるのではなく、⑧こしからきれいにおじぎをし、ゆっくり頭をあげるように心がけましょう。

家で教えてもらえない人は、友人でも、知り合いの人でも「すてきだな」と思う立ち居ふるまいをしている人のまねをしましょう。コーヒーカップの持ち方はあの人がすてき、人と待ち合わせして立っているときの姿はあの人がいいな・・・・

など、具体的に「すてき」の⑨ひみつを見つけましょう。（E）

知っている人に会ったら、自然に頭を下げるというしぐさを身につけるようにします。相手を思いやり、気持ちのよい⑩いんしょうを与えるしぐさが自然にできる人になると、あなたに好感を持つ人が多くなります。

（板東真理子『大人になる前に身につけてほしいこと』より）

問一　傍線部①～⑩のひらがなを漢字に直しなさい。

問二　（ｉ）～（ｖ）に入る語として最も適当なものを、次のア～オのうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

ア　それでも
イ　だから
ウ　また
エ　そのため
オ　しかし

問三　次の文は、もともと本文中にあったものを抜き出したものである。本文中に戻した場合、その場所として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

こうしたふるまいは、慣れていないとどぎまぎしてしまい、うまくできません。

ア　（　Ａ　）の場所
イ　（　Ｂ　）の場所
ウ　（　Ｃ　）の場所
エ　（　Ｄ　）の場所
オ　（　Ｅ　）の場所

問四　空欄【Ⅰ】【Ⅱ】に最も適当な言葉を、文章中から漢字二文字で抜き出しなさい。

問五　傍線部1これらのことと、2こんなことにとは具体的にどのようなことを指しているか。それぞれについて、次のア～クから、それぞれに含まれることがらを選びなさい。

ア　いばること。
イ　傷つけること。
ウ　自慢すること。
エ　嘘をつくこと。
オ　物を盗むこと。
カ　殺すこと。
キ　バカにすること。

問六　傍線部ⅰおばあさんくらいの年代、ⅱ教えこまれたについて、後の問（1～2）に答えなさい。

1　傍線部ⅰおばあさんくらいの年代の「の」と意味用法が同じものはどれか。適当なものを次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　弟の描いた絵。
イ　急いでいるの。
ウ　そんなの後でいいわ。
エ　私の服が増えた。
オ　担当の山田です。

2　傍線部ⅱ教えこまれたの、「れる」「られる」と意味用法が同じものはどれか。適当なものを次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　やっと山に登れるようになった。
イ　チャイムとともに先生が教室に来られた。
ウ　美しい夏の景色が思い出される。
エ　このままでは彼の将来が案じられる。
オ　思いがけずやさしい言葉をかけられた。

問七　傍線部Ⅰそういうものとは、どういうことか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　相手の気持ちを理解し、相手に合わせる協調性があること。
イ　相手の気持ちを想像し、相手に対する言動を抑制できること。
ウ　相手の気持ちを瞬時に察知し、相手が望む言動ができること。
エ　相手の気持ちの変化を読み取り、背中を押すことができること。
オ　相手の気持ちの裏側を理解し、無理な要求をしないこと。

問八　Ⅱ立ち居ふるまいが美しい人を筆者はどのように表現しているか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　きらびやかな人
イ　知的な人
ウ　上品な人
エ　すてきな人
オ　かっこいい人

問九　Ⅲ行儀作法と同じ意味の語句を文中から六字で抜き出しなさい。

問十　Ⅳもったいないことについて、筆者はなぜもったいないと感じるのか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　どぎまぎしてしまうようになったから。
イ　身につけるチャンスを逃したから。
ウ　ほかの人たちができるようになったから。
エ　反発ばかりする子になったから。
オ　人からバカにされるようになったから。

問十一　Ⅴ頭だけピョコンと下げると同じ比喩技法を用いているものはどれか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア　ツンとした顔。
イ　ライオンのような鋭い目。
ウ　バタバタとしたあしおと。
エ　目が点になる。
オ　ザワザワした教室。

問十二　次のア～オの文で述べられていることが本文の内容と合致しているものには○を、合致していないものには×を、それぞれア～オの解答欄に書きなさい。

ア　筆者は、自分のしてほしいことを相手にもしてあげると必ず喜ばれると考えている。
イ　筆者は、若い人が自分のことだけでせいいっぱいなのはしかたがないと考えている。
ウ　筆者は、知っている人に会ったら自然に頭を下げるのがよいと考えている。
エ　筆者は、相手に対する思いやりをもつことは現代社会においては難しいと考えている。
オ　筆者は、禁止されていること以外にも人に対してすべきでないことがあると考えている。

設問二　次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

史上最強クラスと言われた台風10号が、かなりの時間をかけて九州を通過した。この原稿を執筆している段階では、四国から関西を通過中だが、勢力も風速もかなり弱まってきた。懸念されたほどの甚大な影響はなかったようだが、建物被害や負傷者もあったと聞く。産業への影響はどうだろうか。実家の無事は確認でき、胸をなでおろした。

とはいえ、今回の台風では、その影響で中部から関東西部に豪雨が集中し、土砂災害の危険も高まっている。加えて、この夏は例年にない酷暑、局所的なゲリラ豪雨、線状降水帯の発生による集中豪雨と想定を超える被害が各地を襲った。先月の日向灘地震後には南海トラフ地震臨時情報も出され、緊張が走ったことも記憶に新しく、気を緩めるわけにはいかない。

昨日9月1日は「防災の日」。101年前の関東大震災の教訓を忘れないよう、この日に制定されたことは学校で習った。しかし、数世代前の話であり、新学期とも重なるため、正直他人事であった。

今改めてこの日の意味を考えてみて、ある疑問が思い浮かぶ。そもそも、いつの時点で制定されたものだろうか。

たどりついた東京消防庁HPの「消防雑学事典」の説明によると、64年前の昭和35年に閣議決定されたそうだ。なぜこの年なのかと言えば、5千人を超える死者・行方不明者を出し、家屋にも甚大な被害を与えた前年の伊勢湾台風を受けてのことであった。9月1日が暦の上で「二百十日（にひゃくとおか）」に重なり、まさに台風シーズンに当たるため、Ⅰ地震に加え風水害への心構えを育成する意味があったのだと学んだ。

「喉元過ぎれば熱さ忘れる」のが人間のかなしい性（さが）である。災害直後は、無事こそこの上なく有難いと実感されるのに、やがて日々の生活にまぎれてかえりみられなくなる。いつどのような災害に巻き込まれるか、予測・予想が立てづらくなっている今こそ、常に無事を願い、事に備える心掛けが必要となっているのではないだろうか。

小説家の菊池寛は、競馬好きで馬主でもあった。それがもたらす楽しさはわずかで、もっぱら心を占めたのは馬の故障による心配や憂鬱（ゆううつ）であったとのこと。「無事是名馬」と表している。

無事が名馬と讃えられるのは「何もなかった」という結果論のためではなく「何事も起こさなかった」努力ゆえのことだろう。オリンピックのメダリストたちも入念な準備を怠らず、故障なく練習を積み重ねてきたからこそ、大きな結果につながったはずである。Ⅱ無事を迎えるためには、やはり日頃の備えが必要だ。

（長崎新聞２０２４年９月２日　ながさき時評　西村明　「無事是名馬」「怠りなく『事』への備えを」より）

問一　９月１日「防災の日」は、傍線部Ⅰ地震に加え風水害への心構えを育成するためのものだというが、それはどのようなことかを考えて【ノート】の文章を書いた。本文の内容を踏まえて、空欄（ア）（イ）に入る語句をそれぞれ八字以内で本文中から抜き出して書きなさい。

【ノート】　人間には、災害直後は、無事であることが（ア）ことだと思うが、やがて忘れてしまう性質がある。９月１日「防災の日」は、関東大震災の教訓に加えて、伊勢湾台風を受けて閣議決定されたものである。平穏な日々にあっても、怠ることなく常に無事を願い、（イ）が必要だということを改めて認識することが、災害が多発する現代においては特に求められている。「防災の日」は、そうした心構えを毎年思い出させるための日である。

問二　傍線部Ⅱ無事を迎えるためには、やはり日頃の備えが必要だ。とあるが、筆者の主張する重要性を踏まえ、どのような「日頃の備え」ができると考えるか。あなたの出せる知恵を具体的にわかりやすく三〇〇字以上三五〇字以内で述べなさい。

（文は例のように第一マス目から書き始め、改行したい場合は句点直後のマスにマークとして△を入れること。）

【例】

あいうえおかきくけこ。△さしすせそたちつ
てと、なにぬねの。はひふへほ。△まみ

令和７年度　学校推薦型選抜指定校制　国語　解答用紙

受験番号（　　）　氏名（　　）

設問一

問一

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

い　しく

問二

i　ii　iii　iv　v

問三

問四

Ⅰ　Ⅱ

問五

1　2

問六

1　2

問七

問八

問九

問十

問十一

問十二

ア　イ　ウ　エ　オ

設問二

問一

ア　イ

問二

350

300　200　100

令和7年度　学校推薦型選抜指定校制　国語　解答用紙

受験番号（　　）　氏名（　　）

設問一

問一

①	②	③	④	⑤
違い	法律	厳しく	基本	優雅

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
畳	足音	腰	秘密	印象

問二

i	ii	iii	iv	v
オ	イ	ウ	エ	ア

問三　エ

問四

Ⅰ　自分

Ⅱ　品格

問五

1　イオカ

2　アウエキ

問六

1　エ

2　オ

問七　イ

問八　エ

問九

細	か	い	マ	ナ	ー

問十　イ

問十一　ア

問十二

ア　×

イ　×

ウ　○

エ　×

オ　○

設問二

問一

ア

こ	の	上	な	く	有	難	い

イ

事	に	備	え	る	心	掛	け

問二

350

300　200　100

令和 7 年度 国語 【学校推薦型選抜指定校制（保育学科）】 出題意図

【設問一】 随筆：基礎的国語力・人間理解の確認

・漢字の書き取り、文脈に応じた接続詞の適切な選択、同義表現の理解など、基礎的な国語能力を評価する。

・助詞「の」や助動詞「れる・られる」の意味用法、擬音語・擬態語の比喩的表現を正しく把握する語学知識を測定する。

・他者への思いやりや適切な立ち居振る舞い、人間関係を良好に保つマナーの本質について、文章の文脈や要旨を正しく読み取る文章理解力を確認する。

【設問二】 新聞論説および小論文：情報要約力・主体的な課題解決力・記述力の確認

・要点を正確に抜き出す精読力・要約力を評価する。

・日常における具体的な防災の備えや提案について、指定された条件を踏まえながら、自らの考えを論理的かつ分かりやすく論述する文章表現力を測定する。